

別の方への受講推薦者コメント

- ・ Parameter 設定の理解が深まり、適切な設定が可能
- ・ SPICE に精通した人向けだが、初心者にも概要を知るのに良い講座
- ・ オプション設定の目的が明確になり理解が深まる
- ・ SPICE の中身を説明する講座が他にないので、意味がある
- ・ SPICE の成り立ちや考え方からの講義だったので、精度設定の妥当性について考えることができた
- ・ 知らなかったことがたくさんあり、今後の設計に非常に役に立つ知識が得られた
- ・ 新人研修くらいから知っておくべき内容だと思った
- ・ より高精度な simulation を期待する方の受講は必須

研修でわかったところ

- ・ 各パラメータの意味、実行時間や精度への影響、パラメータを決定していく考え方
- ・ nodeset の重要性
- ・ DC 感度解析手法、DC が収束しない実例

- ・ Tran 解析の積分法の違いと選択基準
- ・ SPICE 解析アルゴリズム
- ・ 専門家としてお勧めする設定や勘所
- ・ SPICE の収束条件とそのパラメータの意味
- ・ 行列式の操作から解を出す仕組み、収束の方法、フーリエ解析方法
- ・ ネットリストの見方
- ・ Tran では $G_{min}=0$ で良い理由
- ・ `errpreset` についての注意点
- ・ `sim` 設定を全然理解せずに使っていたことを実感

所感、ご意見など

- ・ 実際に業務で使用する Spectre 等の設定を見ながら講義説明との紐づきを確認していたので、実際に設定変更を行う箇所等のイメージが付きやすかった
- ・ 説明や資料がわかりやすく、理解しやすかった
- ・ 数式とパラメータは別講座とし、各自のニーズに合わせて選択できると良いのでは？
- ・ パラメータを決める実習は、実践的かつパラメータの意味の理解に非常に良い例だった
- ・ 実際に `reltol` 等を変えるとどう特性が変わるかシミュレーション結果と比較

して説明があるともっと良かった

- ・ 数式を減らして図で説明してもらおうとイメージが掴みやすいと思う
- ・ DC 解析未収束の経験があるが、今回の講義の内容を知っていれば変数調整やベンチ回路の改善等で乗り切れたのではないかと思う
- ・ RF 解析、歩留まり解析についての講座もぜひ受講したい
- ・ 今までのシミュレーションでなぜこうなるのか分からなかったところが何個か解決したので受けた甲斐があった